

新製品紹介

- 力率 0.8 出力容量の常時インバーター給電方式 UPS
Acrostar THA シリーズ 「THA1000-10」
- コードレス作業灯 「パワーライト プロ MH」
- 「デマンド監視装置 RMD501 シリーズ」

力率 0.8 出力容量の 常時インバーター給電方式 UPS Acrostar THA シリーズ 「THA1000-10」

(株)ジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクスは、常時インバーター給電方式の UPS の Acrostar THA シリーズとして「THA1000-10」を発売しました。

世界最小クラスのコンパクト設計を実現し、出力容量 1000 VA / 800 W の高力率負荷に対応した、縦置き / 横置き兼用 UPS です。

豊富なオプションと、高機能、高品質、高信頼性、コストパフォーマンスを兼ね備え、サーバー、外部記憶装置 (ストレージ)、ネットワーク機器、FA システム、金融システム、放送・通信システム、計測・計装・制御システム、防犯・防災・監視システムなど、さまざまな用途でご使用いただくことが可能です。

<特長>

1. 世界最小クラスのコンパクト設計

1000 VA / 800 W 出力の常時インバーター給電方式 UPS では世界最小クラスの小型化を実現している。

2. 高力率負荷対応の 1000 VA / 800 W

力率改善回路を搭載した高容量の電源機器に対応する。

3. 幅広い入力電圧範囲

幅広い入力電圧に対応できるとともに、バッテリー運転への切り替えを軽減し、バッテリーの消耗を防止する。

| 入力電圧変動範囲 | 摘要 |
|-----------|------------------------------|
| 132 V | 上限値 |
| 70 ~ 85 V | 下限値 (負荷率 0 ~ 100%, リニア変動) |

4. スイッチカバー、抜け止めコンセントを標準装備 (4 個)

万が一のときの誤操作やプラグが抜けてデータが消去するといった障害を防ぎ、安心して確実な電源供給を実現している。

5. 前面からのバッテリー交換が可能 (ホットスワップ対応、ユーザーにて交換可能)

システムを停止することなく、前面から簡単にバッテリーの交換が可能である。

6. 省電力動作機能を搭載

接続された負荷容量により自動で省電力のバイパス運転に切り替える省エネ運転機能を搭載し、負荷停止時の消費電力を低減する。

(注) 出荷時の設定は機能無効としている。

7. 縦置き / 横置き兼用タイプ

床面積・高さ方向に対して、柔軟な設置が可能である。

8. 充実したバッテリー自己診断^{*1}機能を搭載

起動時、手動 (正面パネル)、自動 (UPS 管理ソフトウェア) の 3 パターンでバッテリーの劣化状態を判定。ブザー、ALARM LED、状態表示 LED^{*2} で通知することによって事前にトラブルを回避できる。

また、バッテリー交換時期を過ぎると、充電を停止し、寿命末期のバッテリートラブルを未然に防止する。

*1: サーミスターによるバッテリー周囲温度監視

*2: バッテリー寿命残年数 (目安) を表示

9. 豊富なオプション

(1) UPS 管理ソフトウェア (Acroware-BasePro, Acroware-LAN Agent3)

(2) AS / 400 (OS / 400) UPS サービス対応

これらのほか、UL 規格対応モデル、延長用バッテリーボックス、メンテナンスバイパスボックス、簡易固定金具、接点ボード、異電圧対応トランスボックスなどの豊富なオプションを順次発売予定である。

<標準小売価格 (税込)>

¥ 144,900

<問い合わせ先>

(株)ジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクス
営業部



コードレス作業灯 「パワーライト プロ MH」

(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライは、2004年2月から販売し、その明るさと使い勝手の良さから自動車整備用の作業灯の用途だけでなく、警察の事故現場検証用、地域での夜間見回り活動用、警備用の照明としての採用も拡大しておりますコードレス作業灯「パワーライト プロⅡ」のラインナップを拡充し、新形ニッケル水素電池パックを搭載した「パワーライト プロ MH」を発売しました。

従来の最大3100ルクスという作業灯の中では、格段に明るい照度を維持しながら、従来搭載していたニカド電池パックに代わり、当社従来品比で約1.6倍の高容量化を実現した小形のニッケル水素電池パックを新たに搭載することによって、軽量化を図るとともに長時間使用が可能になり、作業性が大幅に向上したほか、RoHS指令にも対応し、環境に配慮した商品です。デザインも見直し、作業される方の負担がより軽減され、従来のユーザーはもとより警備業界・ビルメンテナンス業界・アウトドアなどレジャー業界、公共施設の非常時照明向けなどご評価いただけるものと考えております。

<特長>

1. 当社従来品より15%軽量化を実現
ニッケル水素電池パックの採用により質量が約850gと、従来品より約150g軽量化している。
2. 連続点灯時間の延長(バッテリーパック満充電使用時)
ニッケル水素電池パックの採用により、連続点灯時間が通常モードで約100分(従来品比で25%アップ)、省エネモードで約180分(同38%アップ)と、最長で約50分延長して連続点灯できる。
3. 独自の多面反射板の採用により、通常モード時で最大3100ルクスの明るさを確保

4. 従来のロータリーフックに加え、ストラップを装着することによって、横向きでの吊り下げ使用が可能
5. 防雨設計により、野外サービス作業や小雨時の使用も可能
6. コードレスなので車両点検時にコードによる車両の傷つけの心配が不要
7. 「パワーライト プロ」シリーズ初のRoHS指令対応商品

<希望小売価格(税込)>

| | |
|-------------------------------------|----------|
| BL-MH3100S (本体, バッテリーパック, 専用充電器) | ¥ 36,750 |
| BL-MH3100SE (本体, バッテリーパック) | ¥ 29,925 |
| BL-MH3100 (本体のみ) | ¥ 24,150 |

<問い合わせ先>

(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライ
インダストリー事業本部 特機事業部 営業部



「デマンド監視装置 RMD501 シリーズ」

(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライは、ビルや工場、施設などで使用する電気エネルギーを低減する省エネルギー対策に貢献し、電力使用量のピーク値を低減することによって電気代の節約に効果を発揮する「デマンド監視装置 RMD501」を発売しました。

地球温暖化対策が必要とされる現代社会において、わが国の省エネ法ではビル、工場、施設などの事業者が国（各経済産業局）にエネルギー削減計画を報告することが義務付けられ、ISO14000でも環境報告が必要となっています。当社は2002年より、ビルや設備機器の遠隔監視システム事業を展開、「POST-NET」シリーズとして低圧絶縁監視装置やマルチ入力遠隔監視システムを開発・販売し、実績を上げております。本シリーズの1つであるデマンド監視装置もビルや施設などの環境対策や高度なメンテナンスの要求に対応した期待の大きな製品で、とくに、2005年4月に投入した「監視表示板付デマンド監視装置 RMS301D シリーズ」はデマンド監視装置本体の設置場所とは別の場所にデマンド表示板が取り付けられるので、電力管理者がいるオフィスで手軽に状態監視ができるほか、特定小電力無線機を使ってデマンド本体とデマンド表示板との信号接続をコードレスとした配線工事が不要なモデルもあります。また、デマンド値の計測データを遠隔監視で取得できるモバイルパケット通信機（(株)NTTドコモのDopa）を内蔵し、集中監視を実施することができます。

デマンド監視装置は環境対策や経済効果が期待でき、短期間での費用償却も可能ですが、その取付工事に手間がかかること、電力利用状況の表示板がないことにより具体的な省エネ対応ができず、保守会社での利用にとどまっていたが、より幅広い業種の事業者にご利用いただくための新モデルとして「RMD501」を今回開発しました。

従来品の約4倍となるA4サイズと大形のデマンド表示板を採用したことにより、当社従来品より簡単に壁に掛けられます。表示板は建物や施設などの電力使用量を大形LEDで数値表示し、電力利用状況が常時把握できるほか、電力使用量の目標値との比を12段階のバーグラフで表示できるため、省エネの啓発やより具体的な省エネ対応が図れます。

また、音声警報付きとなっています。業務用の電力

料金は電力会社との間で交わした契約電力値の範囲で使用することが原則となっています。この料金は契約電力値に基づく金額（固定費）と、使用電力量に比例した金額との合計で算出されます。契約電力値を超えて使用した場合、次の1年間の契約電力値はその最大値に比例した固定費に使用電力量に比例した金額が加算されるため、電気代が高くなります。そのために、電力使用量の目標値以上になる可能性がある場合には、事前に音声と警報ランプおよび接点端子で警報出力しますので、エネルギーを使いすぎている状況が分かりやすくなり、省エネ対応がよりしやすくなります。

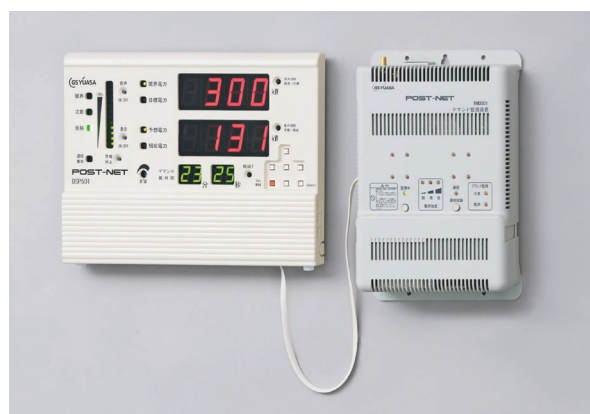
さらに、デマンド監視装置本体とデマンド表示板との信号接続には電力線通信（PLC）が利用できるLANインターフェースを追加、特別な信号配線なしで利用できます。例えば、地下の電気室と地上間のように、従来無線が届かなかった場所でも利用できます。従来品と同様、デマンドデータの遠隔監視は（株）NTTドコモのFOMA回線に対応可能です。なお、取得したデマンドデータから日負荷曲線、月負荷曲線、年負荷曲線などの統計および報告データが作成できるソフトウェアもオプションで販売いたします。

＜特長＞

1. 現在の電力利用状況を分かりやすく見せる音声警報付大形デマンド表示板で簡単に省エネが可能

従来品より大きなA4サイズのデマンド表示板は、現在の電力使用量を大形LEDでデジタル表示するとともに、目標デマンド値との差異を12段階のバーグラフで表示するので、電力使用量の現在の状況を分かりやすく表示できる。

また、電力会社は30分間の最大デマンド値を計測して電気代を課金するが、デマンド監視装置は30分間の電力使用量の予想デマンド値を計算し、



その値があらかじめ設定した目標デマンド値を超えそうな場合には、事前に「デマンド警報」として音声とランプで警報出力し、ただちにユーザーに伝えることができる。表示板に付いている外部警報端子のデマンド警報出力接点を利用して空調機などの負荷を自動制御する機能があるため、電力使用量のピーク値の最大値を下げることができ、電気代の節約が可能である。

2. 市販の PLC が使えるコードレス配線

デマンド監視装置本体と表示板間の信号配線には、従来の特定小電力無線機だけでなく、コンセントに差し込むだけで利用できる市販の PLC が使える LAN インターフェースを追加している。それによって、通常、電力計量器の近くにデマンド監視装置本体を取り付ける際には、既設ビル内の配線あるいは電柱と電気室間の配線など大がかりな工事が必要であるが、特別な配線工事が不要で手軽にデマンド監視装置を取り付けることができる。例えば、電力計量器とデマンド表示板とが建屋をまたがる場合には特定小電力無線機を利用し、電波が届きにくい地下と地上間などは市販の PLC を利用することができる。

3. デマンド計測データの取得やデマンド値を遠隔で設定可能

モバイル通信機（(株)NTT ドコモ製 FOMA）の内蔵機種の場合、デマンドデータ値やデマンド警報

を遠隔で取得できる。併せて、デマンド警報レベル値の設定変更が可能で、警報発生時に電子メールであらかじめ取得したアドレス先に警報メールを送信できる。オプションのソフトウェアで取得したデマンドデータから、日負荷曲線、月負荷曲線、年負荷曲線の作成や、帳票作成が可能である。

4. 警報時に自動負荷低減制御が可能なデマンド警報出力接点付き

デマンド監視装置本体とデマンド表示板に警報接点端子を装備することにより、デマンド警報発生と同時に、空調機などの負荷を減らす制御を自動的に実施したり、警報に合わせて大形 LED やブザーを鳴らしたりする場合の接続用端子としても利用できる。接点出力の動作モードは3種類あり、ユーザーの目的に合わせて利用できる。

<参考販売価格>

| | |
|--|-----------|
| 本体装置と表示板 | ¥ 348,000 |
| 本体装置と表示板（モバイル通信機能付き） | ¥ 448,000 |
| <オプション> | ¥ 98,000 |
| 特定小電力無線機 一式 （推奨品 高速 PLC 通信装置 PLC アダプター BL-PA100KT 松下電器産業(株)製） | |

<問い合わせ先>

(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライ
インダストリー事業本部 RMS 部